

第51回プレストレストコンクリート技術講習会（オンライン開催）

主催：（公社）プレストレストコンクリート工学会

協賛：（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会

後援：（公社）土木学会、（一社）日本建築学会、
（公社）日本コンクリート工学会、（公社）日本材料学会、
（一財）橋梁調査会、（一社）建設コンサルタンツ協会、
（公財）高速道路調査会、（一社）セメント協会、
（一社）全日本建設技術協会、
北海道土木技術会コンクリート研究委員会

プログラム（予定）：

【主催者挨拶】（10分）

本工学会会長 下村 匠

【特別講演】（各40分）

① 「C-S-Hのミクロ構造分析に基づく今後のセメントおよび

コンクリートの在り方」

新潟大学大学院 准教授 斎藤 豪

② 「PC橋のデジタルツインを用いた構造性能の評価と維持管理の高度化」

神戸大学大学院 准教授 三木 朋広

③ 「フライアッシュを用いたジオポリマーの配合および

製造方法の最適化に関する研究紹介」

熊本大学大学院 教授 尾上 幸造

【テキスト題目】

（40分）（A）「コンクリート橋の補修後の劣化に関する調査と補修の

信頼性向上に関する取組み」

国立研究開発法人 土木研究所 古賀 裕久

（40分）（B）「PC技術による高い機能性、意匠性を持つ建築」

近畿大学 教授 本工学会理事 岸本 一藏

（40分）（C）「高速道路の取組み」

1) NEXCOにおけるリニューアル工事および新設橋梁の施工状況

中日本高速道路㈱ 青木 圭一

2) 首都高速道路の更新計画と羽田トンネル更新のためのう回路橋梁

首都高速道路㈱ 小島 直之

（40分）（D）「鉄道の取組み ― 時空間制約下の施工 ―」

（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構 朝長 光

（30分）（E）「PC技術に関する海外の話題」

1) 第8回 PC橋に関する日越ジョイントワークショップと現地視察

八千代エンジニアリング㈱ 伊藤 均

2) fib モデルコード2020の概要

中日本高速道路㈱ 牧田 通

（30分）（F）「日本のPC黎明期において、忘れてはならないひとり

― 仏人技師 セルジュ コバニコの足跡 ―」

本工学会PCアーカイブス委員会 井谷 計男

以上

※題目・講師については変更する可能性があります。

※テキストは、講習会 Web サイトからダウンロードしていただくことになります。

※土木学会継続教育（CPD）プログラムの認定単位数は、5.7単位です。